



105

編集 知道会広報委員会
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内

発行人 稲葉節生
発行日 令和6年10月1日
通巻 第105号
HP www.chidokai.jp
メール chidokai_mito@chidokai.jp
*HPはカラー版がご覧になれます。



〈目次〉

水戸一高のいま。変わるものと変わらないもの	1
一高だより	3
令和6年「会員の集い」	4
コラム	6
地域・職域等知道会	7
第73期第52回代議員会	7

母校訪問

水戸一高のいま。変わるものと変わらないもの

昨日の硬式野球の試合は残念でしたが、選手も応援の生徒も、皆よく頑張ったと思います。

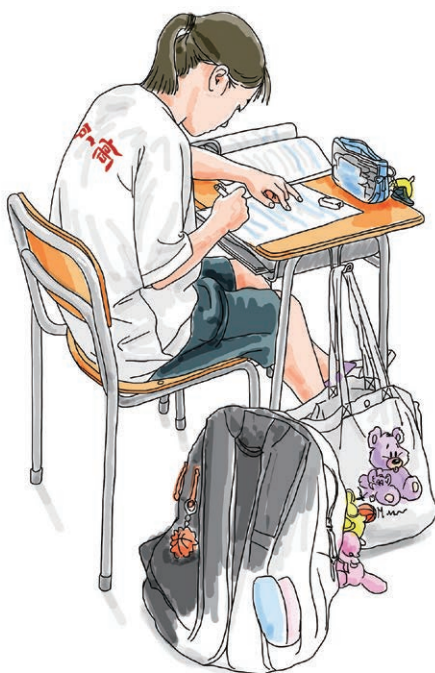
——7月18日、強烈な日差しのもと、母校を訪れました。こんな話題から始まった取材のお相手は富澤英士教頭先生です。

硬式野球部だけでなく、他の部も頑張っています。多くの部が地区予選を勝ち抜け、県大会で活躍しています。基本的に平日2時間だけという活動時間を守りつつ、きちんと戦績を残しています。サッカー部は競争が激しいメジャースポーツであるにもかかわらず、今年は強豪校を破って県大会4回戦まで勝ち進みました。

——私（取材者）は昭和56年卒。40年以上前の部活動時代に思いを馳せつつ、その時との違いについてうかがいました。

高校生は、今も昔も変わりなく、勉学も部活動も委員会活動も何でも懸命に取り組んでいます。附属中学校の生徒は、委員会活動は基本的に高校生と一緒に活動していますが、部活動は体験活動として高校生の部活動に参加する形をとっています。体験型部活動を経て、中学3年生の夏休みから正式に高校の部活動に入部できることになっています。

——よって中体連の試合には出られないようで、もちろん部活だけがすべてではないものの、中学での部活動を当たり前と思っていた自分の価値観との違いから微かな衝撃を受けつつ、先に進みます。



今日は「授業観察」がある日ですので、高校生の理科の授業を見学に行きましょう。

授業観察は、教員同士がお互いの授業を見学し合い、自身の授業力を高めるために行っています。一方で、自分の授業以外で、生徒たちがどんな様子なのか、どんな表情をしているのか、一人一人をよりよく把握するためという意味もあります。

——なるほど、そのようなことを定期的に先生方はやっているのですね。私が現役高校生だった時も、そうやって恩師のみなさまは生徒たちをちゃんと観察してきたのか。

授業中は、当たり前のことだけでも、生徒諸君はみな集中して勉強しています。体操着を着ている生徒が思いのほか多く、背の「水戸一高」の文字がとても目立ちます【1②】。知道会報のタイトル書体「水戸八分」かな。そして、私の時代との違いは、黒板の隣には大型モニター、机の上にはノートPCがあったりすること。

自分が在学していた頃との一番の違いは、附属中学校の存在ですね。附属中学生は競争率約4倍の狭き門を通過して入学してきました。男女数半々で1クラス40人。それが2クラス。みな向学心にあふれています。附属中学校には制服【3】と給食【4】があります。

附属中学から上がってくる生徒「内進生」と高校から入学してくる



①②授業風景。体操着多し



③附属中学の制服。スカートかスラックスは自由に選択できる（写真提供：茨城県立水戸第一高等学校附属中学校）

※次ページに続く

生徒「高入生」では授業の進捗が多少違うので、高校1年生の時に内進生と高入生を別のクラスにしています。高校2年生になって、ゆるやかに文理コースを分ける時点で内進生と高入生を融合するようにしています。

生徒を取り巻く環境も変わっています。身近なところでは、教室は全て冷暖房完備であること。それから、今は購買部がありません。高校生は基本的に弁当持参で登校します（外部の弁当屋さんに事前注文して翌日配達の仕事あり）。

——ほう？購買部がない。時効なので白状しますが、私は友人の母親が販売窓口で働いていた関係で「おまけ」がつくことが多く、級友にずいぶんと羨ましがられました。

勉強の量ですが、これは明らかに今の方が多と思います。今の生徒の方が、私たちの頃より大変です（笑）。

現行の「共通テスト」、その問題の分量は35年前の「共通一次テスト」の約10倍と言っていいでしょう。各科目の問題用紙は数十ページの冊子です。読解力はもちろんですが、推察力、すなわちその問題が何を問おうとしているのか、パッとアタリをつけられるようなことも大事な能力になってきています。

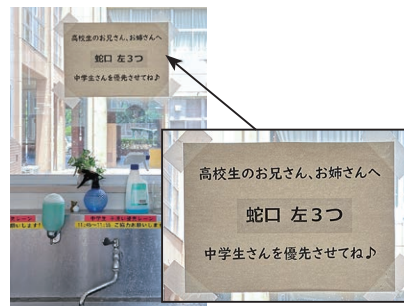
——10倍。これには言葉を失いました。私の現役時代に比べて覚えるべき知識の総量が、端的にそれだけ増大しているのでしょうか。

生徒集会や、学苑祭、歩く会、クラスマッチ、学校説明会、そして卒業式などの学校行事は、中学生と高校生の生徒会や実行委員会が合同で運営にあたります。歩く会ですが、のぼり旗の文言規定や歩行中の細かいルール作りなどの運営は、今も変わらず生徒実行委員会が主体的に進めています。水戸一高の自主自立の校風は、今も生き続けています。

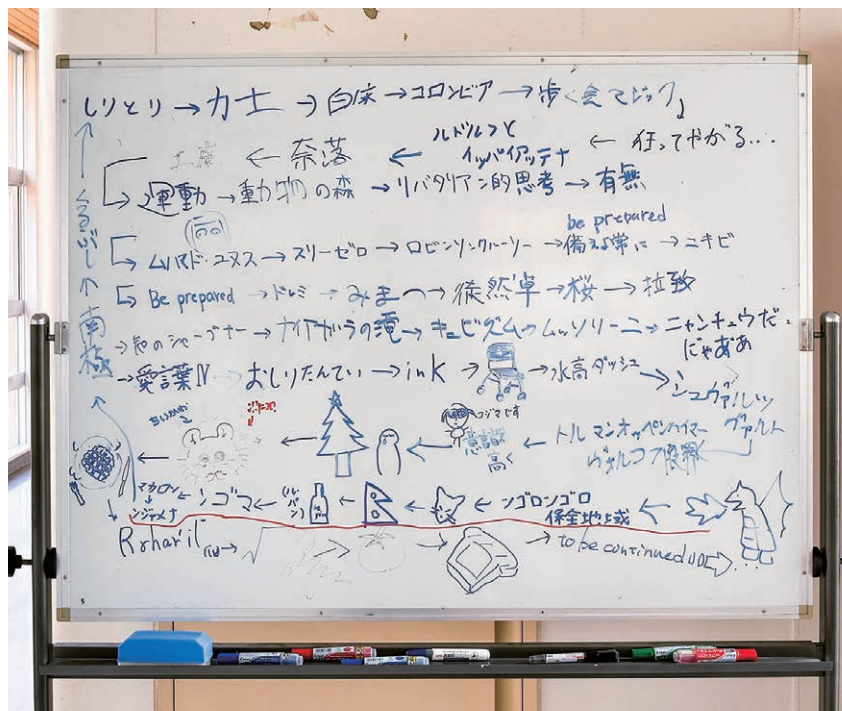
新型コロナウイルスの影響による縮小実施の時期もありましたが、徐々に以前の実施形態に戻りつつあります。この2年間は、夜間の大休止地



④ 附属中学の給食。「とけないアイス」を食べてみたい♡



手洗い場の注意書き。「高校生のお兄さん、お姉さんへ」がほほえましい。



⑤ 共有スペースで繰り広げられるしりとり。取材者（昭和生まれ）にとっては意味不明の言葉もあれば、感心する言葉も。個人的に響いたのは「リバタリアンの思考」

（仮眠場所）は水戸一高にしています。また、中学生は1日目の昼間、中休止地までの約20kmを団体歩行で参加しています。

教員になって思うことですが、多くの教員たちが事前に十分な準備を重ね、当日は大勢の保護者や卒業生たちが支援にまわって、そういった上で歩く会が成立しているところも非常に大きいかなということです。事故が起きないようにするのはとても大変なことで、コース全てを事前にくまなく見回ります。必要があれば草刈りもするし、コースに関係する役場や警察署、消防署、学校、病院には必ず挨拶に伺います。私が生徒だった頃も、大人たちはきっとそうしていたのだと思います。

——校内には自由に集える井戸端のスペースが各所に見られます。そこに面白いものを見つけました。それはホワイトボード上でのしりとり【⑤】。複数が匿名で気ままに書き込んでいるのだけれど、だからこそ、今の生徒たちの意識の片隅を占めるような言葉が散りばめられていると感じました。その中の「リバタリアンの思考」という言葉はまさに自由主義的思考のこと、自主自立。ただ、ここではそれは大人たちの密やかな親心（穏やかなバターナリズム？）に支えられてのことなのかもしれません。連綿と続く水戸一高の校風はその両輪があってこそか。ふと、そう思いました。

平井 夏樹（昭56卒）

*「制服」以外の写真、イラストも

山岳部

インターハイ2年連続アベック出場

8月2日～6日に福岡県添田町においておこなわれた令和6年度全国高等学校総合体育大会登山大会に、山岳部が男子団体女子団体部門で2年連続アベック出場をした。競技は、体力や歩行技術だけでなく、設営・炊事等も審査される。さらに、救急・気象・自然観察や地図読解の知識までも審査対象である。3日間の山行と開会式後のペーパーテストによって100点満点で点数付けが行われ順位が決まる。男子団体は、リーダー加藤蒼真(32)、堀江柁吾(31)、市村聡太郎(23)、岡本太一(24)の4名、女子はリーダー黒田美唯(21)、菊地千恵(25)、渡辺楓(22)、沼田悠花(14)の4名が出場した。大会は連日熱中症警戒アラートが出る中行われ、棄権チーム続出のなか本校山岳部チームはその暑さにも負けず3日間の山行を完遂できた。結果は男子92.6点の第30位、女子は93.4点の第28位という結果に終わった。

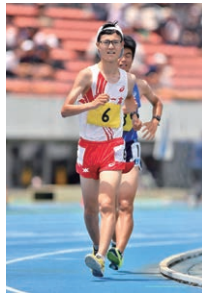
今大会には、男子は2年生が2名、女子は全員2、1年生ということで、来年の広島大会では上位進出が期待できそうである。



陸上競技部

インターハイ5000m競歩に出場

僕の目標は、22分台を出しインターハイに出場することだった。インターハイが決まってからは、す



ごく夢のようだった。が、レースは悔しい結果となった。3,000m過ぎまで先頭集団にくらいついていて、徐々に失速し、最後の3周は記憶が曖昧で、気付いたらゴールして倒れ、医務室に運ばれていた。熱中症だった。練習はしっかりやった。イメトレで精神面も鍛えた。気力は十二分にあった。やはり、経験不足であった。コンディションがうまくいかなかった。コンディションによって、力が大きく変わることを身をもって体験した。なんだかんだ言っても、レースも本番までの期間も楽しんだ。競歩を出来ることが楽しかった。ただ今は本当に悔しい。この悔しさはこれからの勝負ごとにつづけていきたい。

35組 小此木祐星

放送部

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト(7/23~7/25) 出場

アナウンス部門に2名、朗読部門に2名、テレビドキュメント部門に1作品が出場しました。今年も準決勝進出はならず、全国のレベルの高さを感じました。少しでも差を埋められるようにこれからも日々練習に励んでいきます。



第48回全国高等学校総合文化祭放送部門(8/2~8/3) 参加

アナウンス部門に2名、ビデオメッセージ部門に1作品が参加しまし



た。この大会で引退となる3年生の野中は緊張の色を見せながらも納めることができるアナウンスができました。

硬式野球部

春季・夏季活動報告

日頃より本校硬式野球部にご支援・ご声援を賜り厚く御礼申し上げます。春季県大会、そして夏の選手権茨城大会の結果をご報告いたします。

まず、春季県大会におきましては、エース・小川(3年)を故障で欠く中で苦しい戦いとなりましたが、日立一・東洋大牛久・藤代を破り、昨秋に続いてベスト4へと進出しました。古宮(2年)を筆頭に投手陣の奮闘が目立ち、またタイブレークを2試合制するなど、収穫の多い大会となりました。

選手権茨城大会には、Aシード(第3シード)として臨み、初戦の牛久栄進戦では小川の投打にわたる活躍により8-1で勝利しました。しかしながら、続く3回戦の守谷戦では、幸先良く先制しましたが相手打線の猛攻を止められず、8-15で敗戦しました。なお、守谷高校はその後、準決勝まで進出する躍進を遂げ今大会の台風の目となりました。

ラストゲームは非常に悔いの残る試合となりましたが、特色選抜1期生も含まれる3年生13名を中心としたこのチームは、秋春連続のベスト4、そして第96回選抜高等学校野球大会における「21世紀枠」の関東地区代表校に選出されるなど、新たな歴史を築きました。



令和6年知道会会員の集い(代議員会・講演会)を開催します

知道会の財産は「人」。世代を越えて交流し、懐かしい話や情報交換など、楽しい時間を過ごしましょう。代議員会では高校生の海外派遣報告ほか、講演会は、幹事学年である平成5年卒の5人によるパネルディスカッションを行います。その後は、懇親会を開催します。平成15卒によるアトラクションもお楽しみください。多くの方のご参加をお待ちしています。



期 日 令和6年11月16日(土)
場 所 水戸京成ホテル2階「瑠璃の間」

日 程 12:30 受付開始
13:00~14:00 代議員会
14:05~14:25 海外派遣研修報告(参加生徒による)
14:30~15:20 講演会
【パネルディスカッション】
ロストジェネレーション世代のサバイバルの30年(平5卒)
15:40~17:15 懇親会「ミニコンサート」
フルート奏者 鶴谷 幸氏(平15卒)

参加費 5,000円
※事前の参加費振込が必要です。
ただし卒業6年目=令和元年3月卒業以降の会員は参加費は無料にしています。
●今回も無料の託児サービスを予定しています。
お申し込みなど詳細は知道会HPをご覧ください。

講演会

14:30~ 【パネルディスカッション】 ロストジェネレーション世代のサバイバルの30年

本講演は、4人のパネリストとモデレーターによるパネルディスカッションとなります。

平成5年に高校を卒業した私たちは、厳しい社会情勢の中で人生を過ごしてきた「ロストジェネレーション」と呼ばれる世代です。バブルも経験せず、大学を卒業した時には山一証券破綻から始まる就職超氷河期。その後、ITバブルの崩壊、リーマンショック、東日本大震災、ウクライナ情勢など「谷」を何度も経験してきました。そのような中、それぞれがどのように生き延び、「谷」を乗り越えてきたのかに焦点を当て、ディスカッションしていきます。

パネリスト

今川 義威

1974年7月生まれ。水戸市育ち。立教大学法学部。司法試験受験生を経たのち、サービサーやJリート運用会社にて債権及び不動産デューデリを担当。現在は、建築・不動産系の資格学校である総合資格学院にて宅建などの不動産系資格の講座の企画開発を行う。週5の練習・週1のラウンドを欠かさないサラリーマンゴルファー。

中村(高橋) 佳子

1975年1月栃木県宇都宮生まれ、水戸市育ち。筑波大学医学専門学群。筑波大学附属病院産婦人科に就職(いわゆる医局)。その後、茨城県内の病院で研鑽を積み、現在水戸済生会総合病院にて産婦人科医として働く。ラグビーをこよなく愛する3児の母。

須田 将啓

1974年4月水戸市生まれ。慶應義塾大学院理工学研究科卒。博報堂を経て、海外ブランドファッションのCtoCプラットフォームBUYMA(バイマ)を運営する株式会社エニグモを設立、代表取締役役に就任。現在、東証プライム上場。

大越 裕

1974年8月桂村生まれ。早稲田大学第一文学部。株式会社宣伝会議に入社後、編集・ライター養成講座の立ち上げを担当。2011年にライターとして独立し、雑誌AERAなどで経済・文化・サイエンス記事を執筆。ユーグレナやエニグモの本の編集構成に携わる。

モデレーター

神永 将行

1974年4月水戸市生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。コンサル会社、銀行、VCを経て独立。IU情報経営イノベーション専門職大学客員教授。

懇親会 15:40～

ミニコンサート

水戸一高平成15年卒のフルート奏者、鶴谷 幸さんに演奏をお願いしました。クラシックの名曲や懐かしいメロディー、ディズニー音楽まで幅広い楽曲をご用意いただいています。懇親会にぴったりのフルートの華やかな音色をピアノの演奏とともに楽しんでください！

◇出演者プロフィール

日上市出身、東海村在住。平成15年水戸一高卒。水戸一高では吹奏楽部に所属。玉川大学芸術学部を学長賞を受賞して卒業。平成24年まで玉川大学助手を務める。

日本フルート協会主催 第34回フルートデビューリサイタル、レインボウ21サントリーホールデビューコンサート2008等出演。多くの吹奏楽やオーケストラの演奏会にも参加。

現在は会社員と子育てに勤しむ傍らで、主に都内での企画コンサートや訪問演奏を行っている。



鶴谷 幸(つるや ゆき)

幹事学年 学年同窓会

会員の集い・幹事学年が集い終了後に 学年同窓会を開催します

平成5年卒 学年同窓会

卒業して早32年。遠くなりし、アオハルの記憶。

50歳の節目の年、みんなで集まって、思い出話、近況話などで盛り上がりましょう！学年同窓会への多くのご参加お待ちしております。

14時30分頃からは、各界で活躍する同級生5人によるパネルディスカッションを行いますので、是非、知道会会員の集いからの参加をお願いします。

日時 令和6年11月16日(土)
18時30分から

場所 水戸京成ホテル

会費 6,000円(当日受付にて)

申込方法

QRコードからGoogleフォームにてお申し込みください。

お問い合わせ

mito1.h5@gmail.com

※詳細はGoogleフォームで案内あり。



平成15年卒 学年同窓会

40歳の節目の年を迎え、学年同窓会を開催します。お世話になった先生方もお招きする予定です。多くの皆さんのご参加をお待ちしております！

当日の「会員の集い」懇親会では同級生の鶴谷 幸さんの演奏も予定されています。是非ご参加ください。

日時 令和6年11月16日(土)
18時30分から

場所 水戸京成ホテル

会費 6,000円(当日受付にて)
※会員の集いから参加される方は4,000円

申込方法

QRコードを読み取り「調整さん」に入力して10月28日(月)までにお申し込みください。



平成25年卒 学年同窓会

皆さまお久しぶりです。お元気でしょうか。

水戸一高を卒業して早12年。今年は10年に1度の同窓会が開かれる年です。

多くの卒業生のご参加を幹事一同心よりお待ちしております。

日時 令和6年11月16日(土)
18時30分から

場所 水戸京成ホテル

会費 7,000円

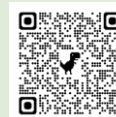
※会員の集いから参加される方は、4,000円となります。

申込方法

QRコードを読み取り、10月1日(火)までにGoogleフォームにてご報告ください。また、不参加の方も10年後以降の同窓会に向けて情報を入力していただくと幸いです。

お問い合わせ

h25chidoukai@gmail.com



学苑祭はやっぱり「あつい」!

東京知道会幹事学年 橋本(會津)さとみ(平8卒)

平成8年の卒業後、外部者として学苑祭初参加です。開場9時に合わせてロマンス坂を上ると、そこには30分近い入場前行列。並んでいる人を見ると、附属中の下見を兼ねてか小学生とそこご家族と思われる方が大勢います。行列時間とその構成から、某テーマパークを思い出しました。正門前の飾りつけを細部まで見られたのは行列のおかげですね。

薬医門でパンフレットを受け取り、さらに並んで昇降口へ。色とりどりの布が吹き抜け空間になびいています。

10時前にはすでに校内に人があふれた状態。教室入り待機列、通行列とレーン分けされていましたが、廊下でのすれ違いも少々困難です。アナウンスに耳を傾けると水分補給を促すものだけでなく、ある教室での入場制限も出始めたとのこと。気温・湿度だけでなく学生さんたちの熱気もあって、いろいろな意味で「あつさにまけそう」になりました。

校舎だけでなく知道会館の中にも入りたかったため、茶道部の茶席にお邪魔することに。御厩校長先生に伺ったところによると、現在老朽化のため(耐震関係)クラス合宿等は行われていないそうです。

今回の参加では各展示・出し物等をじっくり見る時間は取れなかったものの、廊下の張り紙や練り歩く呼び込みが各クラス・団体の活気を伝えてくれました。来年以降参加される皆様は、展示や出し物にぜひ直接触れて附属中学生・一高生の情熱を感じてくださいね。



コラム クラスマッチいまむかし

水戸一高教頭 富澤英士(平元卒)

今なお続く「クラスマッチ」。その変遷を追ってみましょう。みなさんの時代はどのように行われていましたか?

○土浦一高定期戦交歓会

〈昭40～昭52年〉

硬式野球部だけの定期戦として、土浦市営球場で開催するのが始まり。昭43年からは会場を交互にして全校生徒が参加。昭48年から名称を定期戦交歓会としたが、土浦一高が文化祭を5月に繰り上げたため、昭52年が最後の実施となった。

○スポーツフェスティバル

(略称: スポフェス、略記: SF)

〈昭53～昭62年〉

土浦一高定期戦交歓会に替わる行事として、笠松運動公園を会場に、昭53年～昭60年は5月中下旬、昭61年～昭62年は7月上旬に実施。この年代の卒業生は、クラスマッチ≒スポフェスの認識が強い。競技種目は、リレー、バレーボール、卓球、テニス、ソフトボール、サッカーなど。

○クラスマッチ

第Ⅰ期(不明～平21年)

いつ始まったかは不明だが、定期戦交歓会・SFとは別に、昼休みに、通年または数週間以上かけて実施。昭53年以降は、クラスマッチ委員が

通年配置されていた。昭61～昭63年は、通年で昼休みにサッカー、ソフトボール、軟式庭球、バスケットボール、バレーボールなどを実施した。雨中サッカーにより、全身泥だらけのまま午後の授業を受けた者多数。平10年頃は、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、バレーボールなどを数週間～数か月かけて実施。平21年は、バスケットボール男女とサッカー男子を6月1日～7月17日の期間(25日間)で実施した記録が残る。

第Ⅱ期(平22～平27年)

昼休みに2週間(10日間)かけて実施(期間限定早弁時代)。5月下旬から6月上旬の2週間(10日間)にリレー、バスケットボール、ドッ

ジボール、サッカー、大縄跳び(平23年)、しっぽ取り(平24年)を実施した。

第Ⅲ期(平28年～現在)

学校行事として1日開催。平28年以降は、1日開催の学校行事となった。サッカー、バスケットボール、リレー、オセロ、水戸郷土かるたが競技の定番。令5年は、実施日6月2日と予備日6月9日がともに雨天となり中止に。令6年はこの経験を踏まえ、屋外競技の代替としてポッチャ、eスポーツ、バスケットボール3×3を事前準備し、実際に初めて実施することとなった。eスポーツ(マリオカート)は階段教室での実施であったが、終日大歓声の盛り上がりを見せていた。



▲eスポーツ



◀オセロ



ポッチャ▶



かるた▼

地域・職域等知道会

地元または現在の住所地に近い地域知道会に入会することができます。
入会ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

第73期 地域・職域活動状況

令和5年 10月29日	石岡知道会	令和6年 6月20日	県庁知道会
令和5年 12月2日	瓜連知道会	令和6年 7月6日	土浦水中一高会
令和5年 12月2日	西日本水中一高会	令和6年 7月7日	常陸太田知道会
令和6年 1月21日	常陸大宮知道会	令和6年 7月7日	城里知道会
令和6年 2月24日	東京知道会「令和6年同窓の集い」	令和6年 7月7日	岩間知道会
令和6年 3月16日	五軒知道会	令和6年 7月13日	友部知道会
令和6年 4月14日	みつば知道会	令和6年 7月19日	笠間知道会
令和6年 6月1日	下市知道会	令和6年 7月27日	鹿行知道会
令和6年 6月9日	石岡知道会	令和6年 8月31日	新莊知道会
令和6年 6月15日	常陽知道会		

第73期 地域知道会支部会長

支部名	支部会長	卒年	支部名	支部会長	卒年
1 東京知道会	江幡 秀則	昭47	16 友部知道会	柴山 博光	昭42
2 西日本水中一高会	井内 義興	昭33	17 笠間知道会	市村 博之	昭40
3 日立知道会	鈴木 一良	昭40	18 小川知道会	上田 理裕	昭35
4 大子知道会	瀬尾 浩	昭38	19 岩間知道会	中村 彦藏	昭37
5 常陸太田知道会	朝日 一	昭41	20 石岡知道会	山本 進	昭42
6 常陸大宮知道会	三次真一郎	昭42	21 土浦水中一高会	桐原 利之	昭38
7 那珂知道会	田中 正平	昭41	22 桜川市知道会	千勝 正弘	昭35
8 瓜連知道会	高野 潔	昭42	23 鹿行知道会	柳川 隆則	昭51
9 城里知道会	鯉淵 逸夫	昭37	24 新莊知道会	久信田喜一	昭43
10 東海村知道会	村上 達也	昭36	25 五軒知道会	大金 誠	昭42
11 勝田知道会	清水 武彦	昭31	26 水戸下市知道会	後藤 克己	昭43
12 那珂湊行餘学会	乾 守男	昭48	27 みつば知道会	坂場 安男	昭46
13 水戸知道会	大金 誠	昭42	28 水戸南部知道会	篠原 勉	昭48
14 大洗知道会	粉川 勝	昭42	29 アジア知道会	石崎 浩之	昭60
15 茨城町知道会	久保田良一	昭44			

書籍紹介

南極せんせい —現役高校教師の挑戦—

北澤佑子（平17卒）著
プレアデス出版 2024年
1,800円（税抜）



茨城県の教師で初めて、教員南極派遣プログラムで選出され、第61次南極地域観測隊同行者として活動した筆者。何度も選考に挑戦して実現した経緯や、憧れだった南極の様子、昭和基地からライブ中継で授業を行う南極授業の実現に至るところなど、純粋にまっすぐな言葉で語られている。南極についても写真・イラストを織り交ぜており、楽しみながら知ることができる。特に、準備してやっと実現した南極授業の場面は感動的だ。これからも南極せんせいは「南極魂」を心を持って発信を続けていく。

第73期第52回代議員会

日時 令和6年5月11日(土)

場所 知道会館2階会議室

- (1) 第73期事業中間報告として、委員会活動と事業・地域・職域知道会の活動状況が河野幹事長から報告され、了承されました。
- (2) 第73期収支中間報告について、出澤財務委員長から報告され、了承されました。
- (3) 140周年記念事業経過報告ならびに収支報告について、河野幹事長より報告され、了承されました。
- (4) その他報告事項として、役員改選に伴う指名委員会の設置につき河野幹事長から報告されました。

年会費の納入に、スマホ決済もできるようになりました

コンビニエンスストアでの払込票に、スマホ決済用のバーコードが追加されました。PayPay、LINE Pay、au PAY、PayB を利用している方は、アプリを起動し、払込票下部のバーコードを読み込み、ご自宅ですべてコンビニ支払を完了することができます。

預金口座振替もできます。現在、「口座振替キャンペーン」として口座振替の手続きをして頂いた方を対象に、クオ・カード（1,000円）を進呈しております。

詳しくは事務局（029-226-3960月・水・金）にお問い合わせください。



物 故 者 (R 5. 8 ~ R 6. 8 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

昭18中	小林 一生	昭28高	坏 則夫	昭33高	川崎 正侃	昭41高	青木 研二
昭19中	重久 實展	昭28高	佐藤 怜	昭34高	浅野 政紀	昭41高	清水 俊一
昭20中④	澤田 忠	昭28高	野口 尚宏	昭34高	黒沢 恒康	昭41通	国府田忠三郎
昭20中⑤	高村 善郎	昭28高	庄司 博	昭34高	中山 義雄	昭42高	大曾根 進
昭20中④	保坂 昭三	昭28高	菊池 祥治	昭34高	小野 一郎	昭43高	関根 一
昭21中	菅田 芳文	昭29高	中村 久道	昭34高	田所 稔	昭43高	立原 誠
昭22中	石井 幸雄	昭29高	大川 英治	昭34高	斉藤 仁	昭43高	大内 常男
昭22中	勝山 一美	昭29高	黒澤 洋允	昭34高	栗原 健郎	昭43高	鹿子幡儀仁
昭22中	高岡 恒郎	昭29高	西野 宏	昭34高	皆川 憲弘	昭43高	相野谷正幸
昭23中	熱田 喜一	昭29高	磯崎 潤	昭34高	片野 嘉久	昭44高	長久保 修
昭23中	片根 基博	昭29高	荒川 靖	昭34高	岡崎 正志	昭45高	菊地 和夫
昭23中	坂場 昭二	昭29高	岩脇 正俊	昭34高	軍地恒四郎	昭45高	田口 謙二
昭23中	相馬 一男	昭29高	小瀧 峻	昭34通	益子 克夫	昭45高	殿塚 裕一
昭24中	松崎 尊彦	昭29高	仁平 康雄	昭35高	清水 和二	昭45高	林 慶照
昭24高	阿久津昭次	昭30高	大林(坏)四郎	昭35高	中根 竹彦	昭46高	川又 肇
昭24高	堀川 貢佑	昭30高	倉持 次雄	昭35高	久徳 尚	昭47高	友部 主彦
昭24高	森嶋 淳	昭30高	増田 直次	昭35高	石井 孟	昭48通	桜井(寺門)キミ子
昭24高	竹内 正時	昭30高	沢畠 昇	昭35高	木村 稔人	昭49高	義村(武藤)まさ代
昭24高	山下 愛世	昭30高	高岡 斉	昭36高	上野 武	昭49通	郡司 安夫
昭25高	大津 一郎	昭30高	沼田 和夫	昭36高	森田 泰弘	昭49通	細谷(村上)稔
昭25高	田谷 耕	昭31高	浅野 保治	昭36高	落合 純一	昭50高	坪井 文男
昭25高	五位渊 滋	昭31高	菊池 興安	昭36高	前嶋 利勝	昭51高	深澤(綱川)雅之
昭25高	横倉 紀一	昭31高	茂木 和夫	昭37通	小池(小林)忠男	昭56高	星野 拓美
昭25高	小池 瓊一	昭31高	河村 孝	昭37高	大藤(矢野)榮通	昭59高	江原 洋一
昭25高	小室 忍	昭31高	滝沢 勤	昭37高	山田 紀夫	昭59高	引田 義一
昭26高	坂本 士朗	昭32高	菊池 叶	昭38高	土肥 界雄		
昭26高	田口日佐夫	昭32高	柴崎 健	昭38高	館 卓雄		
昭26高	八木原茂雄	昭32高	木村平三九	昭38高	平田(小此木)健二		
昭26高	小松崎 誠	昭32高	麻植 輝昭	昭38高	小野寺憲和		
昭26高	清水 博	昭32高	吉原 勝雄	昭39高	石川 幸夫		
昭27高	鬼沢 実	昭32高	萩原 貞雄	昭39高	小林 茂樹		
昭27高	瀬谷 勇也	昭33高	浅野 保治	昭39高	金子庄一郎		
昭27高	初瀬 弘平	昭33高	宮本 宣彦	昭39高	馬場 哲也		
昭27高	山本 茂	昭33高	生田目 卓	昭39高	磯田(安達)績		
昭27高	後藤 彰彦	昭33高	小泉 正彦	昭39高	大内 康可		
昭27高	萩野谷泰男	昭33高	林 武史	昭39高	柳沢 澄		
昭28高	中嶋 正博	昭33高	尾見 和男	昭40高	大曾根克彦		
昭28高	澤畠 教孝	昭33高	犬塚 一臣	昭40高	檜山 高之		
昭28高	橋本 淳一	昭33高	戸部 滋	昭40高	塩畑 雄吉		
昭28高	大畠 亨	昭33高	高橋 利幸	昭40高	綿引 進		

ホームページから登録内容の変更手続きができます！

◎会員情報変更フォーム <https://chidokai.jp/desk/r-form/>
 その他お問い合わせ chidokai_mito@chidokai.jp



事務局

月・水・金(祝祭日を除く)
10:00~15:00

来局の際は、事前にご連絡
をお願い致します。



学校基本データ

学校創立 1878年(明治11年)10月2日
 令和6年 創立146年
 同窓会員数 40,074名
 住所判明者数 21,076名
 在籍生徒数 高校 721名(男子440名 女子281名)
 中学 239名(男子120名 女子119名)
 (令和6年8月現在)